北海道医報

ISSN 0913-0217　2025.5.1. 第1280号

発行人　北海道医師会長　松家　治道
編集人　情報広報部長　橋本　洋一

発行所　北海道医師会
〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
TEL (011) 231-1432　FAX (011) 221-5070
URL http://www.hokkaido.med.or.jp/
E-mail info@office.hokkaido.med.or.jp　頒価 1 部 275 円（税込）

季節風

アウトサイダーの政治家トランプ
―反グローバリズムの到来―

情報広報部　**山科　賢児**

２０２５年１月、ドナルド・トランプ氏は第47代アメリカ大統領に２０１７年以来再び就任した。彼ほど評価や支持が分かれ、毀誉褒貶（きよほうへん）の激しい人物は珍しい。就任当初から即決即断の行動力を示しているが、首尾一貫しない政策は世界を困惑と不安にさせている。

２月28日にホワイトハウスで行われたトランプ大統領とウクライナのゼレンスキー大統領とのウクライナ停戦を目指す会談でのトランプ大統領の交渉術は衝撃的であった。テレビに映し出された両者の激しい意見の対立や感情的な口論の応酬の模様は「外交は取引であり、交渉術を駆使するビジネスの場である」と彼の流儀を世界に示した。

トランプ大統領は、ビジネスマンとしての経験や感覚に基づいて、交渉や取引の場で強硬な態度を取り、自分の利益を最大限に引き出し相手に譲歩を迫ってきた。しかし、政治や外交はそう単純なものではなく、ビジネスの金銭交渉術とは異なる複雑さが伴う。彼のビジネスマン的直感は説得力を持つ一方で、長期的な国際的協調や連鎖反応を把握し制御できるかは不透明である。

トランプ政権の誕生には、国家の枠を超えて政治や経済、文化が相互に結びつきを強めて繁栄したグローバリズムの限界が背景にある。１９９０年代、クリントン政権下でグローバリズムは全盛を迎え、金融資本と政権の密接な関係が築かれた。しかし、リーマン・ショックを契機に過剰な金融投機や経済格差が顕在化し、アメリカ国民の不満が高まり、社会は行き詰まった。

今回の選挙では、民主党の支持基盤である若者や労働者階級が経済政策や移民問題に対する不満を抱き「アメリカ第一主義」に共感し大きな力となった。また、民主党からのメッセージはエリート色が強く、中西部の白人層や低所得者層には届かなかった。トランプ大統領のメディア戦略は、オールドメディア（伝統的なテレビや新聞）との対決姿勢が特徴である。ＳＮＳを活用し直接支持者とつながることで、メッセージは迅速かつ広範囲に拡散され、支持者の結束を強化し勝利した。

巧みなメディア戦略を駆使して支持を集めたことは成功だったが、実際の政策に不安定さや方向性の矛盾を、多くの人は感じているのではないだろうか。トランプ大統領は「弱い人の味方」と見られる一方で、実際にはビジネスマンとしての金銭感覚や利益重視の姿勢が強い。「アメリカ第一主義」政策は低所得者層に支持されるのに対し、減税や規制緩和は富裕層や企業に恩恵をもたらす政策である。

４月３日「トランプ「相互関税砲」発射、世界の株式市場に激震」のニュースが世界を駆け巡った。その直後から世界中の同時株安が始まり、マスメディアは一斉に不安と危機感を煽り、相互関税に懐疑的な論調があふれている。

トランプ米大統領は、相互関税による景気悪化の懸念が引き起こす株価急落について「予想されていたことだ」と、意に介さない姿勢を示し、アメリカ経済を患者に例えて「重い病気で多くの問題を抱えていたので手術を受けた。好景気がやってくる」と勝算があるかのように自信を示している。

トランプ相互関税の条件がここにきて二転三転し、世界は疑心暗鬼となっている。これが意図的に演出されているものなのか、相手を動揺させるものなのか、もしそうならば、彼は非常に高度な政治的手腕を持っていることになり、今後が興味深い。

グローバリズムが限界を露呈している状況において、現状維持は衰退を意味する。行動しながら決断を下し、失敗を恐れずに方向転換する姿勢がリーダーに求められる。さらに時代の変化の節目には、独断に陥らず周囲の意見に耳を傾ける器量の大きさと、長期的な視野と短期的な課題に対応するバランス感覚が必須である。

日本はグローバリゼーションの波の中で、この30年間賃金は上がらず「一億総中流」から格差社会へ、非正規雇用者は約４割となり、食料の自給率の低下、さらに外国資本の流入や外国人労働者の受け入れが進み、ＳＮＳなどの普及により価値観の多様性を求められるようになった。その結果日本の社会はどうなったであろう。インフレが進み、ただ生きづらくなり、ついに先進国から脱落してしまった。

世界の潮流は内向きに変化し、反グローバリズムへと揺れ戻っている。グローバリズムにどっぷり浸かり、自浄能力を失った「悲しい日本」に意識の変換はできるだろうか。